

# 教科の概要（地理歴史科）

## I. 目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを、効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本人としての自覚が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

## II. 観点別評価の規準と基準

	規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	十分満足できる		
	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 【概ね達成率 80%以上】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、見通しを持って考えることができる。また、資料などを活用して多面的・多角的に考察したり、考察、構想したことを、効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。 【概ね達成率 80%以上】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする主体的に取り組むことができる。 【概ね達成率 80%以上】
B	おおむね満足できる		
	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解、説明できる。また、これら特色を調べまとめることができる。 【概ね達成率 35%】	地理や歴史に関わる事象について理解するとともに、見通しを持って考えることができる。また、資料などを活用して多面的・多角的に考察したり、表現したりすることができる。 【概ね達成率 35%】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする自主的に取り組む。 【概ね達成率 35%以上】
C	努力を要する		
	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開について理解している。また、これら特色を調べることができる。	地理や歴史に関わる事象について理解するとともに、見通しを持って考えることができる。	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする取り組み。

## I. 授業の概要

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	2	年次	1
使用教科書	高等学校 新地理総合、新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	新詳地理資料 COMPLETE、高等学校 新地理総合ノート（帝国書院）						

1. **学習の目標** 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

### 2. 3観点の評価規準

規 準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとしている。また、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚を深めようとしている。
上記の規準に対して、「十分満足できる」場合はA、「おおむね満足できる」場合はB、「努力を要する」場合はCとして評価する		
評 価 方 法		
定期考査、課題提出、グループワークへの取り組みなどを踏まえて総合的に評価します。		

### 1. 学習内容

1 学 期	<第1部第1章>1節地球上の位置と時差/2節地図の役割と種類<第1部第2章>1節現代世界の国家と領域/2節グローバル化する世界<第2部第1章>1節世界の地形と人々の生活/2節世界の気候と人々の生活/3節世界の言語・宗教と人々の生活/4節歴史的背景と人々の生活
2 学 期	5節世界の産業と人々の生活<第2部第2章>1節複雑に絡み合う地球的課題/2節地球環境問題/3節資源・エネルギー問題/4節人口問題/5節食料問題/6節都市・居住問題

### 2. 学習方法

基本的な知識の定着は大切なことです。教科書・資料集・地図帳をしっかりと読み込みましょう。しかし地理総合ではそれだけに留まらず、「何を知っているか」から一歩進んで「何ができるようになるか」を意識して学習することが大切になります。対話的に学び、物事の原因や理由について深く考えましょう。培った地理的見方・考え方を活用し、様々な課題の解決を図ろうとする、未来を志向する能動的な態度を身につけましょう。また、これからの社会を担う一員として、世の中で起きている出来事の背景

3 学 期	<第3部第1章> 1節日本の自然環境/ 2節地震・津波と防災/ 3節火山災害と防災/ 4節気象災害と防災/ 5節自然災害への備え<第3部第2章> 1節生活圏の調査と地域の展望
-------------	---

や原因に関心を持つことも大切です。新聞やニュースにもしっかり目を通しましょう。

## I. 授業の概要

<b>教科</b>	地理歴史	<b>科目</b>	歴史総合	<b>単位数</b>	2	<b>年次</b>	1
<b>使用教科書</b>	明解歴史総合（帝国書院）						
<b>副教材等</b>	「明解歴史総合図説シンフォニア 初訂版」（帝国書院）						

### 1. 学習の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

### 2. 3観点の評価規準

規 準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代とのつながり等に着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現「視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上記の規準に対して、「十分満足できる」場合はA、「おおむね満足できる」場合はB、「努力を要する」場合はCとして評価する		
評 価 方 法		
定期考査、文系フィールドワーク提出課題などを踏まえて総合的に評価します。		

### 3. 学習内容

1 学 期	<b>2部 近代化と私たち</b> 1章 江戸時代の日本と結び付く世界 2章 欧米諸国における近代化 3章 近代化の進展と国民国家 4章 アジア諸国の動揺と日本の開国 5章 近代化が進む日本と東アジア
-------------	---

### 4. 学習方法

中学校で学習した歴史的分野を近現代の歴史の変化に関わる事柄を中心に学習します。基本的には、教科書や資料集・準拠ノート等、様々な資料を活用しながら学習します。授業においては、予習を行うことが大切です。教科書の本文を一読し、準拠ノートをまとめて

2 学期	<b>3部国際秩序の変化や大衆化と私たち</b> 1章 第一次世界大戦と日本の対応 2章 国際協調と大衆社会の広がり 3章 日本の行方と第二次世界大戦 4章 再出発する世界と日本 4部グローバル化と私たち 序章 グローバル化への問い
3 学期	<b>4部グローバル化と私たち</b> 1章 冷戦で揺れる世界と日本 2章 多極化する世界 3章 グローバル化のなかの世界と日本

おいた上で授業に臨むようにしてください。

1時間の授業において、歴史の変化に関わる事象の意味や意義、現代とのつながりを考えながら授業を受けるようにしてください。これからの社会を担う一員として、世の中の出来事や背景や原因に、関心を持ちましょう。新聞やニュースなどを見ることも、授業を理解する上で力になります。

また、授業においてはMicrosoft Teamsを活用した授業支援を行います。授業に関する資料などを掲載予定ですので、登録をお願いします（詳細は、授業開きにおいて説明します）。